

3年ぶりに開催します!!

令和5年度 ボランティアフェスティバル in 城陽



「ボランティアフェスティバル in 城陽」は市民の方々が福祉ボランティア活動を知っていただき、活動に興味を持っていただくきっかけ作りを目的とした取り組みです。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年以降は、市立福祉センターでのポスター展示や啓発ブース設置等、形を変えて開催していましたが、今年度は3年ぶりに参集型で開催します。当日は、福祉ボランティア団体の相談ブース、体験ブース、ステージ発表を予定しています。福祉ボランティアの魅力に触れる機会、ぜひご参加ください!

【日 ち】 令和6年2月18日(日)
【時 間】 13:00~15:30
【場 所】 城陽市立福祉センター
【内 容】 福祉ボランティア団体による説明や体験、ステージ発表(手話歌、朗読発表)など
※申し込み不要、無料です!

福祉ボランティア始めませんか?

興味がある方大募集中!!
城陽市社会福祉協議会登録団体

朗読ボランティア 種 声	城陽手話サークル てまり(昼)	城陽要約筆記サークル ダンボ
城陽おはなしサークル	城陽手話サークル めだか(夜)	城陽点字サークル たんぼぼ
傾聴ボランティア コスモス	メンズボランティア 手助け隊	介護支援サークル やわらぎ

お気軽にお電話ください!!
城陽市社会福祉協議会
TEL:0774-56-0909 FAX:0774-56-2800

来場いただいた方には記念品や、スタンプラリーの景品をご用意しています!!

ボランティアフェスティバルの取組みの一環として、地域の団体様、コミセン等にポスターの掲示協力いただいています。



福祉ボランティア募集中! 興味のある方はこちらまでご連絡ください

城陽市社会福祉協議会【担当:古閑】(住所:京都府城陽市寺田東ノロ17)
電話:0774-56-0909 FAX:0774-56-2800
E-mail:koga@jyoshakyo.or.jp



令和6年2月号発行 ボランティアだより

—発行— 社会福祉法人
城陽市社会福祉協議会

京都府城陽市寺田東ノロ17
TEL (0774) 56-0909
FAX (0774) 56-2800



開催します!!

ボランティア入門講座
「誰かのために、自分のために…
ボランティアやってみよう!」

老若男女問わず誰でも参加でき、地域や他者のために、またご自身の生きがいとなるのが、ボランティア活動の魅力です。

ボランティアを通じて、豊かな地域づくりに参加しませんか?

【日 ち】 令和6年3月12日(火)
【時 間】 10:00~12:00
【場 所】 城陽市立福祉センター 1階ホール
【講 師】 関西福祉科学大学

【対 象】 社会学部 社会福祉学科 准教授 南 多恵子氏
城陽市内在住の方でボランティア活動を始めたい市民
ボランティア活動に関心のある方または活動中の市民

【参加費】 無 料
【定 員】 30名(定員になり次第締め切り)
※事前申し込みが必要です。

【受付開始】 2月16日(金)より受付を開始します。
【申込み先】 城陽市社会福祉協議会
【電話番号】 0774-56-0909

お気軽に
ご参加ください



■第33回 福祉ふれあいまつり ポスター展示会の開催■

令和5年11月8日(水)～11日(土)、アル・プラザ城陽で第33回福祉ふれあいまつりポスター展示会が開催されました。

「福祉ふれあいまつり」は、より多くの市民の方々に「福祉」にふれていただく機会として、平成3年から続けている取り組みです。

今年度は、市内福祉団体をはじめとする55団体のポスターが展示され、障害福祉サービス事業所の手作り製品の販売会も同時に行われました。

前年度に引き続き、城陽市ボッチャ協会の皆様に協力をいただき、パラスポーツ「ボッチャ」の体験スペースを設置。また、今年度新たな取り組みとして、福祉に関する「相談ブース」「体験ブース」「ステージ発表」を実施しました。

4日間で約800名の方にご来場いただき、展示されているポスターやチラシ、体験、相談を通して市内で活動する福祉団体の取り組みについて知っていただくことができ、また、ボッチャ体験では友達や家族で楽しみながら競技されたり、ステージ発表では2つのボランティア団体が披露された手話歌を会場から溢れるほどの沢山の方々がご覧になっていました。ご協力や参加いただいた皆様、ありがとうございました。



城陽市視覚障がい者協会・朗読ボランティア陽声 新春交流会

令和6年1月13日(土) 城陽市視覚障がい者協会・朗読ボランティア陽声の新年交流会が福祉センターホールにて開催されました。当日は、双方の会員合わせて55名が参加。城陽市視覚障がい者協会、陽声代表の挨拶後に行われたアトラクションでは、城陽市視覚障がい者協会の会員で構成されているオカリナサークル「スマイル」による演奏。団子屋みたらし氏による落語、朗読ボランティア 陽声の朗読が披露され、美しい音色や笑い声に包まれ、楽しい時間を過ごされていました。



ボランティア講座「あなたの参加が地域を元気にする」～互いに支えあえる地域を目指して～を開催しました！

令和5年12月4日(月)に、市立福祉センターにて認定NPO法人 コミュニティ・サポート センター神戸 理事長 中村 順子氏をお招きし、有償ボランティアをテーマとした講座を開催しました。当日は、29名の市民に参加いただきました。中村氏からは有償ボランティアについての説明や、やりがい、成功体験等をご講義いただきました。その後、市社協より、令和5年10月にリニューアルした本会事業である「ちょい・サポ」について説明。「ちょい・サポ」とは、地域の方の困りごとに対しを協力会員としてサポートしていただく、有償ボランティア事業です。

本講座を通して多くの市民より「ちょい・サポ」協力会員の申込をいただきました。介護保険等公的な制度を利用しても、解決できない生活上の困りごとを抱える方もおられます。

住民同士の支えあい活動がいろんな形で広がる事で、地域がより豊かになると考えます。
※協力会員大募集中です!! お問い合わせは城陽市社会福祉協議会(56-0909)まで。



第46回城陽サマースクール冬事業 ★「みんなでワイワイ♪たのしい音楽ステージ」が開催されました★

令和5年12月24日(日)に、ココロもカラダも踊りだすワクワク音楽ステージを「ドレミちゃんおんがくかい」の協力のもと開催されました。当日は、子どもたちをはじめ、龍谷大学の学生も歌って♪、踊って♪、サンタになって!?(笑)と、楽しい時間となりました。

ドレミちゃんおんがくかいは城陽市を中心に、音楽を通じて心と体が健康で元気になってもらえるよう、参加型のコンサートを企画・開催をしながら、地域のイベントや福祉施設などで活動しているボランティア団体です。

当日は子どもたちがドキドキワクワクする中、演奏がスタート。ゆっくりした曲から、自然と体が動き出す楽しい曲まで、たくさんの曲を楽しむことができました。

映画音楽シリーズでは、大学生も子どもたちが聴くだけでなく、観て楽しめるよう踊ったり、ちょっとした寸劇をしたり、そして子どもたちを誘って一緒に踊ったりと、みんな楽しくにぎやかなクリスマスイブになりました。

